SONY

3-865-282-**04** (1)

カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-50

Sony Corporation © 1999 Printed in China

カセットコーダー

TCM-50

保証書　T11-1001A-1が入ります。

安全のために

⚠警告

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の＋と－が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

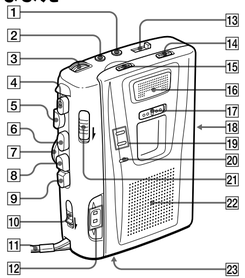
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える、**録音時間2倍モード*搭載**。
- テープの表裏を確かめずに早送り、巻き戻しができる**イージー**FF/REW付き、**録再オートリバース**。
- 2段階ランプで知らせる**録音／電池残量ランプ**と電池を交換するときを知らせる**電池交換お知らせランプ**。
- 録音状況に応じてマイクの感度を切り換えることができる、**マイク感度切り換えスイッチ**。
- お手持ちのヘッドホンを使って両耳で聞くこともできる、L/R**モノラル出力**。
- テープの再生スピードを約＋25%～約－15%の範囲で速めたり遅めたりできる、**再生スピード調節機能(スピードコントロール)**。
- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary effect(バウンダリー　エフェクト)収音方式の、**フラットマイク内蔵**。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まる、VOR**（自動録音スタート）機能**。

* 本機の2倍モード(2.4 cm/s)で録音したテープは、2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

各部のなまえ



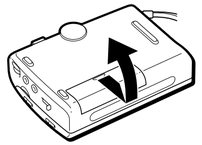
1 イヤホンジャック
2 マイク(プラグインパワー)ジャック
3 音量つまみ
4 ●録音ボタン
5 ■停止ボタン
6 再生ボタン
7 スピードコントロールつまみ
8 巻戻し／レビューボタン
9 早送り／キューボタン
10 反転スイッチ
11 ハンドストラップ
12 走行表示
13 テープカウンター
14 VORスイッチ
15 マイク感度切り換えスイッチ
16 フラットマイク
17 録音時間切り換えスイッチ
18 電池入れ
19 電池/録音ランプ
20 (電池交換お知らせ)ランプ
21 一時停止つまみ
22 スピーカー
23 DC IN 3Vジャック

準備する

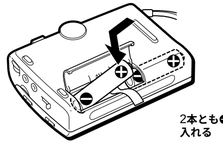
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



②単3形乾電池を2本入れる



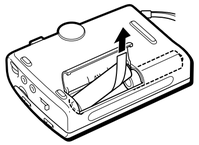
2本とも⊕側を奥にして入れる

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

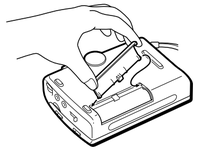
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。



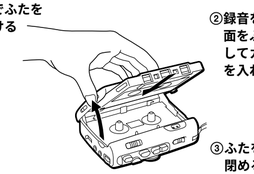
録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。

録音にはノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

ハイポジション(TYPE II)、メタル(TYPE IV)では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる



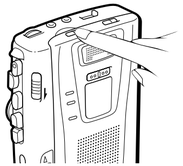
2 録音時間を選ぶ

録音時間切り換えスイッチを「標準」または「2倍」に合わせる

標準(4.8cm/s)：通常の録音をするとき。
「2倍」のときより良い音で録音できます。

2倍(2.4cm/s)：テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。
(60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます)

3 マイク感度を選ぶ

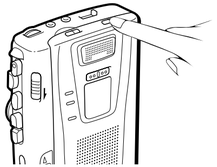


マイク感度切り換えスイッチを「標準」または「口述」に合わせる

録音の状態	マイク感度切り換えスイッチ
遠くの音や小さい音を録音する (例：会議を録音するとき)	標準
近くの音や大きい音を録音する (例：マイクを口元に近づけて録音するとき)	口述

4 VOR（自動録音スタート）機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能は「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については、「録音の便利な機能を使う」をご覧ください。

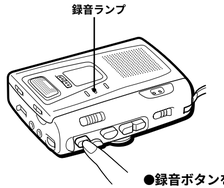


VORスイッチを「切」にする

5 録音する

発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください。

おもて面から録音が始まり、うら面も続けて録音します（オートリバース）。うら面が終わると自動的に止まります。



●録音ボタンを押す

再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

録音中は、音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります。

操作	押すボタン、ずらすつまみ
録音を止める	■停止
一時停止する	一時停止 一時停止を解除するには、一時停止つまみを元に戻す*
カセットを取り出す	■停止ボタンを押してから手でふたを開ける

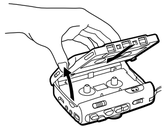
*一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップポーズリリース機能）。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

テープを聞く

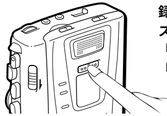
内蔵スピーカーから音が聞こえます。ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

1 カセットを入れる



2 「標準」または「2倍」を選ぶ

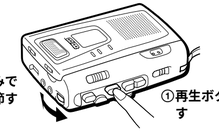
録音時間切り換えスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。



録音時間切り換えスイッチを「標準」または「2倍」に合わせる

3 再生する

おもて面から再生が始まり、うら面も続けて再生します（オートリバース）。うら面が終わると自動的に止まります。



テープ速度がおかしいときは、録音時間切り換えスイッチを確認してください。

別売りのヘッドホンをイヤホンジャックにさすと、両耳から聞こえます。（ただし、音声はモノラルです）。

操作	押すボタン、ずらすつまみ
テープを止める	■停止
一時停止する	一時停止 一時停止を解除するには、一時停止を元に戻す*
テープのうら面だけを聞く	反転をずらして走行表示をうら面にして（緑色になる）から、再生
早送りする**	早送り／キュー
巻き戻す**	巻戻し／レビュー
音を聞きながら早送りする（キュー）	再生中に早送り／キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す（レビュー）	再生中に巻戻し／レビューを押し続ける
再生面を変える	反転
カセットを取り出す	■停止ボタンを押してから手でふたを開ける

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップポーズリリース機能）。

**早送り、巻き戻しのときはテープの終わりで自動的に止まり、電源が切れます（フルオートシャットオフ機能）。

録音の便利な機能を使う

録音する面を選ぶ

両面を続けて録音するには

1 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れます。

2 テープ走行表示がうら面になっているときは、反転スイッチをずらして走行表示をおもて面にして（緑色になる）から録音します。

おもて面（ふた側の面）の録音が終わると、自動的にうら面（本体側の面）から録音が始まります。（ただし、おもて面からうら面に切り換わる間数秒間録音がとぎれます）。
うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

片面だけを録音するには

1 録音を始める面を本体側にしてカセットを入れます。

2 テープ走行表示がおもて面になっているときは、反転スイッチをずらして走行表示をうら面にして（緑色になる）から録音します。

録音はうら面から始まります。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

走行方向表示

うら面 おもて面	おもて面（ふた側の面）を録音/再生中
うら面 おもて面	うら面（本体側の面）を録音/再生中

ご注意
- 停止中にふたを開けるとテープの走行方向は自動的におもて面になります。再び操作すると、必ずおもて面を録音します。
- 録音中は反転スイッチは使えません。

テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。テープカウンターはおもて面を走行中は数字が増え、うら面を走行中は数字が減っていきます。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「入」にしておきます。
●録音ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープをとめる手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。
録音中にVORスイッチを「入」にすることもできます。

ご注意
- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度切り換えスイッチを「標準」または「口述」にしてください。マイク感度スイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチは「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときはVORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

付属のイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。
モニター音は音量つまみで調節できます。録音される音の大きさは一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く（ワンタッチレビュー）

録音中に巻戻し／レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

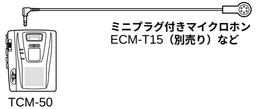
外部マイクや他の機器から録音する

本機で録音中の音を聞くときは、付属のイヤーレシーバーを使います。状況に合わせてVOR機能の入/切とマイク感度を選んでから録音を始めます。

ご注意 **録音する前に**
- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）で録音する

マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

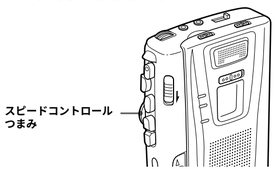
他の機器から録音する

1 本機にカセットを入れます。

2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTやジャックなどから録音するときは、音量を変えても録音には影響しません。)

3 ●録音ボタンを押します。

再生の便利な機能を使う



再生スピードを調節する

本体のスピードコントロールつまみを次のように調節してください。

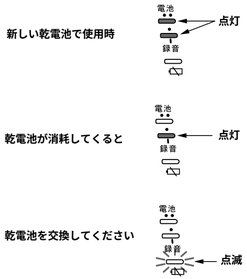
再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常の速度で再生する	中央（白い線のところ）
速く再生する	速い

ご注意
録音中はスピードコントロール機能は使えません。

電源について

乾電池を交換する時期

乾電池の残量は録音／電池残量ランプでお知らせします。
電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。ランプが点滅したら、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。



ご注意
- 早送り（キュー）／巻き戻し（レビュー）中にランプが点滅することがありますが、正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに録音／電池残量ランプが音に応じてちらつくことがありますが、乾電池を交換する必要はありません。
- ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりでランプが瞬間的に点滅することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要はありません。

乾電池の持続時間 (JEITA*)

使用電池	録音時	再生時
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)	約10.5時間	約9.5時間
ソニーマンガン乾電池R6P(SR)	約2時間	約1.5時間

*JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。)

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意
電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

1 ACパワーアダプターAC-E30L（別売り）を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。

2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意
この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

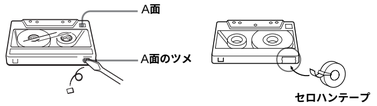
使用上のご注意

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。（ハイポジション／メタルテープでは正しく録音されません。）
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っての録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。 マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。 付属のイヤーレシーバーで聞いてください。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合は音量を下げてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると、録音状態にできなくなるので誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折ってもら穴をふさぐと再び録音できます。



取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ(60°C以上)。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  ーほこりの多いところ。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、ときどきみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

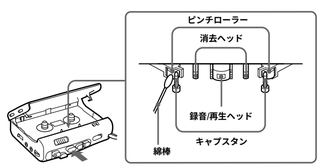
お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。



主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットモノラル
スピーカー	直径36mm
テープ速度	4.8cm/s、2.4cm/sのスピード切り換え(標準ー2倍モード切り換え)
周波数範囲（JEITA*)	TYPE I（ノーマル）カセット 250〜6,300Hz （録音時間切り換えスイッチ「標準」時)
入力端子	マイク（ミニジャック／プラグインパワー対応） (1) 最小入力レベル 0.2 mV インピーダンス3kΩ以下のマイク用
出力端子	イヤホン(ミニジャック／モノラル) (1) 負荷インピーダンス 8〜300 Ωのイヤホン用
実用最大出力(DC時)	スピーカー 250 mW (JEITA)
スピードコントロール可変範囲	約＋25 %〜約－15 % （録音時間切り換えスイッチ「標準」時)
電源	DC 3V、単3形乾電池2本使用 DC IN 3Vジャック（定格3V） 別売りACパワーアダプターAC-E30Lを接続してAC100Vから使用可能。 別売りカーバッテリーコードDCC-E230を接続して12V/24V自動車バッテリーから使用可能。
最大外形寸法	約88.7 × 115.3× 37.2 mm (幅/高さ/奥行き)(JEITA) 最大突起部含む
質量	本体 約250 g ご使用時 約325 g(乾電池R6P(SR) 2本、カセットテープ ソニーHF-60を含む)
付属品	ソニーマンガン乾電池(単３形)R6P(SR) (2)（お試し用**) モノラルイヤーレシーバー (1) 取扱説明書・保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリー	ACパワーアダプター AC-E30L（極性統一形プラグ・JEITA規格） カーバッテリーコード DCC-E230 エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-T15 接続コード RK-G64 クリーニングキット KK-41 クリーニングカセット CHK-1W

*JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
** 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？

修理に出す前にもう１度お調べください。ご不明な点があるときはテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

症状	原因／処置
録音できない。	• カセットが入っていない。 • カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 • 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。 • 録音／再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 • VOR使用時にマイク感度の調節が不適切。
再生できない。	• うら面の状態でテープが終わりまで巻き取られている。→反転スイッチをずらしておもて面にする。 • 録音／再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。 • 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。 • 一時停止つまみが矢印の方向へずらされている。 • ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 • ACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないだまま、乾電池で使おうとしている。
スピーカーから音が出ない。	• イヤーレシーバーが差し込まれている。 • 音量が最小になっている。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。 再生音がおかしい。	• 録音時間切り換えスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。→反対側に切り換える。 • スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。 • 電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。
音が小さい。 音質がよくない。 雑音が入る。	• 音量が絞られている。 • 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。 • 録音/再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 • カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。（直接置くと音質が劣化することがあります。） • ハイポジション、メタルのテープを使っている。
音が不安定で急に音程が狂う。	• 乾電池が消耗している。→2本とも新しいものと交換する。 • キャプスタンやピンチローラーが汚れている。→クリーニングする。
録音が途中で止まる。	• VORが働いている。VORを使用しないときはスイッチを「切」にする。
前の音が完全には消えない。	• 消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 • ハイポジション、メタルのテープを使っている。
本体作動中にノイズ(カチカチ音)が入る。	• テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→もう一度しっかり押して000にする。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」におあお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月〜金 午前９時から 午後６時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax …… 0466-31-2595
受付時間：月〜金 9:00〜20:00 土・日・祝日 9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp/